

平成22年度

「新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム」 「大学教育・学生支援推進事業」学生/就職支援推進プログラム 意見交換会【北海道・東北地区】

事例紹介大学のプログラム概要

1. 宮城教育大学（平成19年度選定）

プログラムの名称	障害学生も共に学べる総合的學生支援 －障害学生との共生により人間性豊かな社会人を育成するための入学から就職までの総合的學生支援システム構築
(プログラムの概要)	
<p>本学は、全国有数の全障害領域を網羅する特別支援教育教員養成課程を設置している。障害学生に対し全学的観点で修学支援に取り組んできた。この実績は、日本学生支援機構の障害学生支援拠点校としてモデル的役割を担い、社会的にも高い評価を得ている。また、この教育効果は、障害学生のみならず支援学生および一般学生にも好影響を与えている。</p> <p>本事業では、障害学生に対して入学から卒業・就職までを視野に入れた、総合的學生支援システムの構築を企図し、教職員・支援学生・障害学生の啓発・研修・就職支援を柱とする『学生教育研修事業』および障害学生への支援にかかるノウハウを活かした支援技術の向上・拡充を『障害学生支援技術開発促進事業』と位置づけ推進していくことにより、特別支援教育マインドを有した教員養成をおこなっていくものである。</p>	

2. 東北学院大学（平成21年度選定）

プログラムの名称	長期就業を目指した地元企業への就職支援
(プログラムの概要)	
<p>東北学院大学には、地元企業への就職を希望する学生が多数いる。しかし、彼らには地元企業の採用情報のみならずその企業がもつ独自性、優位性が十分に伝わっていない実情がある。そこで、本取り組みでは学生が知名度や就業条件の良し悪しに左右されず、自己の適性に応じた職に就けるように支援するべく、東北6県の商工会議所、ハローワークおよび本学卒業生会社経営者団体（地塩会）との連携による就職講演会や個別就職相談あるいは合同企業説明会等の実施により、第二新卒も含めた包括的な就職支援の充実を図り、かつ種々のアンケートの実施および地元企業と本学就職部との意見交換を通じて、就職指導の在り方を常に検証して、地元企業への就職希望学生に係る企業選択と求人状況のミスマッチを防ぐように努め、もって地元企業に就職した卒業生の長期就業率を向上させて地域振興・活性化に繋げることを目指す。</p>	

3. 札幌国際大学短期大学部（平成 21 年度選定）

プログラムの名称	短大 2 年、卒後 2 年、追跡型キャリアパスシステム
（プログラムの概要）	
<p>短期大学における教育は 2 年間と短く、現在、その教育効果を具体的に測る明確な検証システムを持ってはいない。また短大卒業生の社会での活躍は、一部目立つ卒業生は見えてもその全体像の掌握は困難である。本取組では、短大 2 年、卒後 2 年の合計 4 年間を見通したキャリアパスシステムを構築し、短期大学教育の品質保証、およびキャリア支援、卒後キャリアの確認とサポートを行うものである。</p> <p>教育の品質保証を図るため、入学時から卒業までの学習、挑戦、職業能力開発等を自己管理するためのキャリアパスノートを作成し、自らの成長の見える化を実施する。また年間 5 回アドバイザーと対面で相談しながら、学生自身が自分の立ち位置やミッションを確認し、自身の目的を見失うことなく遂行する。さらに Web メールを活用し、卒業後 1・3・6 ヶ月、1・2 年と追跡調査をしながら、卒業生キャリアパスセミナーを行い、卒後 2 年間のアフターケアを実施し、短大教育の品質保証と効果検証を行う。</p>	

4. 酪農学園大学（平成 21 年度選定）

プログラムの名称	e ポートフォリオを活用した食・農型就職支援の展開
（プログラムの概要）	
<p>酪農学園大学は、酪農振興を基本理念として設立され、広範な実業現場との連携を生かした実学教育を展開している。カリキュラム上でも、実業現場からの教育的指導を得る機会が豊富であり、食品製造・流通、農業およびその関連産業へ実践的な人材を輩出してきた。また、これらの教育環境を生かし、教育 GP（実践酪農）および戦略的大学連携（食の安全・安全の基盤）が活動しており、大学内教育体制の基盤整備が進んでいる。本申請は、このような教育体制をさらに発展・充実させるため、入学時から卒業にいたる学習・体験過程を学生個々が e ポートフォリオとしてスクラップブックのように記録し、それをカリキュラムの節目に編集し、仕事選択の過程として実学的学習と職場体験を体系化する教育・指導体制を整備することを目的とする。本取組により自らの学びの過程を自己分析し、さらに社会情勢を踏まえた仕事選びをできる能力を学生に付与することが期待される。</p>	